

## 第1回目黒区スポーツ推進計画改定懇話会 会議録

名 称	第1回目黒区スポーツ推進計画改定懇話会
日 時	令和 6 年 8 月 9 日 (金) 14:00 ~ 16:00
会 場	目黒区総合庁舎地下1階18・19会議室
出席者	委 員：木村座長、関根委員、小根澤委員、上野委員、沖山委員、白石委員、北川委員、島崎委員、村尾委員、工藤委員、高橋委員 区側・事務局：文化・スポーツ部長、スポーツ振興課長、ほか5名（委託事業者含む）
欠席者	委 員：坂田委員、野口委員
次第	1 開会 2 配布資料の確認 3 自己紹介 4 議題 （1）座長・副座長選出 （2）目黒区スポーツ推進計画改定懇話会に係る会議録の取り扱いについて（案） （3）現目黒区スポーツ推進計画の評価・検証について （4）目黒区のスポーツに関する現況について （5）目黒区スポーツ推進計画改定の考え方について （6）その他 5 閉会
配布資料	資料1 目黒区スポーツ推進計画改定懇話会 委員名簿 資料2 目黒区スポーツ推進計画改定懇話会設置要綱 資料3 目黒区スポーツ推進計画改定懇話会に係る会議録の取り扱いについて（案） 資料4 現目黒区スポーツ推進計画の評価・検証について 資料5 目黒区のスポーツに関する現況について 資料6 目黒区スポーツ推進計画改定の考え方 参考1 バーチャルスポーツ・eスポーツに関する国際動向について 参考2 目黒区スポーツ推進計画
内 容	<b>1 開会</b> 〔文化・スポーツ部長〕 現行計画を2年間かけて改定予定であり、10年の間にスポーツは大きく変化していくので、ぜひ夢を語っていただき、区民のスポーツ推進・健康増進に向け、活発にご意見をいただきたい。  <b>2 配布資料の確認</b> 〔庶務〕配布資料の確認  <b>3 自己紹介</b> 〔目黒区〕文化・スポーツ部長、スポーツ振興課長  〔委員〕名簿順に自己紹介 （木村和彦、関根正敏、小根澤玲子、上野幸、沖山新吾、北川博康、島崎孝好、白石美加、村尾勝利、工藤美音、高橋光）（敬称略）

#### 4 議題

##### (1) 座長・副座長の選出

[スポーツ振興課長] 資料2の第5条により座長・副座長の選出

→ 委員の推薦により座長に木村氏、副座長に関根氏を決定

#### 4 議題

##### (2) 目黒区スポーツ推進計画改定懇話会に係る会議録の取り扱いについて(案)

[庶務] 資料3により説明。

→ 了承された。

#### 4 議題

##### (3) 現目黒区スポーツ推進計画の評価・検証について

[スポーツ振興課長] 資料4により説明。

##### ■質疑応答

[座長]

資料が膨大なため、区側の窓口を決めてご意見等いただくのはいかがか。

[スポーツ振興課長]

ご提案いただいた方法で検討し、委員に窓口を連絡させていただく。

[委員]

ライフステージに応じたスポーツ活動について、高齢者運動会は中止になっているかと思う。

[スポーツ振興課長]

了解しました。

[委員]

現行政策評価のA～Dの基準についてご説明いただきたい。

[計画指導係長]

Aは計画を上回る、Bは計画目標を達成、C計画目標一部達成、D計画目標達成していない、という自己評価基準で行っている。

#### 4 議題

##### (4) 目黒区のスポーツに関する現況について

[スポーツ振興課長] 資料5により説明。

##### ■質疑応答

[委員]

障害者のスポーツ実施率のデータはあるのか。

[スポーツ振興課長]

関係部署に確認する。今後障害者団体へのヒアリングも予定している。

[委員]

スポーツの定義を変えた方が良いのではというのはどういう意味か。30・40代のスポーツ実施率が低いようであるが、子供を抱えたり買い物で荷物を抱えたりと、身体的な負担の多い日常活動が多いが、スポーツに含めるということになるか。

[スポーツ振興課長]

歩く、階段をあがるといった日常の生活行動、スポーツとして意識していないが、一定の筋力の維持向上に資する行動をスポーツに含めていくことで、実施率が変わってくるのではという議論もあり、記載している。

[委員]

日常の身体活動を含めて運動・スポーツとして受け入れ、時間ができたらスポーツを行えるように促すと良いのではないか。

[座長]

国とスポーツ実施率の比較があるが、アンケートの設問内容が異なる場合もあり、一概に同じものとして比較できるものではない。eスポーツなども含め、スポーツの対象

は大きく変化し、若年層の関心も変化している。現行計画でスポーツとしているジャンルは皆さんで検討して改定しないといけないと考える。

〔委員〕

現況データ分析は何を目的としているか教えていただきたい。

〔スポーツ振興課長〕

まずは現状把握を目的としている。計画改定の施策を検討する資料となる。

〔委員〕

スポーツをする余裕がなかったり、スポーツしなくても仕事できる体力があったり、リフレッシュしなくてもよい年代もある。年代によってもスポーツとの向き合い方には幅があり、実施率が低いことが問題とはいえないのではないか。スポーツをどう定義するかは議論できるとよい。

〔座長〕

目黒区基本計画の基本目標2で「ライフステージに応じたスポーツ活動」という記載があるが、ライフステージの捉え方も検討する必要がある。

〔委員〕

実施場所で目黒区の施設より民間施設の利用の割合が高いが、内訳はどのようになっているか。学校開放などがうまく利用されていないのか。

〔スポーツ振興課長〕

調査段階で民間施設の定義は具体的にしていないと思うが、ジム・プール等の民間施設と考えられる。学校開放はコロナの影響で一時期利用率は低かったが、令和5年度には回復してきている。

〔委員〕

学校開放の種目を増やせるとよいのではないか。

〔スポーツ振興課長〕

学校開放の種目は学校施設ごとに設定している。利用方法は個人開放と貸切利用とで違う。

〔座長〕

個人開放が少ないが、個人のニーズに合ったような開放になっていない可能性があるかもしれない。学校施設の管理上の制約から団体利用が主になっている。

〔委員〕

学校開放が来年から有料になると聞いている。

〔スポーツ振興課長〕

学校施設全体の老朽化による建て替え等に伴い利用できる施設に制約が出ることから公平に利用できるようにするため、来年度から学校施設の使用について見直し、団体の定期的貸切利用は有料化する予定である。

〔座長〕

委員からチャットで質問が届いているため、庶務からご対応いただきたい。世論調査にスポーツ関連設問が多くなったのは、スポーツ推進計画が策定されたおかげであろう。

〔委員〕

スポーツボランティア実施率が低いが、運動会の手伝いや、子供のスポーツ教室の手伝い、送迎なども含めるなど、測定方法は要検討ではないか。

〔スポーツ振興課長〕

そのように感じており、支えるスポーツについて、たとえば、スポーツ推進委員の活動状況等も実態として反映するとよいと考えている。

〔文化・スポーツ部長〕

身近なスポーツボランティア参加者は多い印象だが、実際は同じような方がボランティアをしていただいている、世論調査のとおり広く浸透していないということかと思うので、今後広く参加いただけるような機会を作っていけると良いと考えている。

#### 4 議題

##### (5) 目黒区スポーツ推進計画改定の考え方について

〔スポーツ振興課長〕資料6により説明。24ページのヒヤリングの考え方及び26ページの

計画体系についてご意見をいただきたい。

■質疑応答

[委員]

スポーツの考え方は重要で、子どもがスポーツすると保護者が勝ち負けにこだわる傾向があるが、人格形成等の勝敗に関わらない記載があるのが良い。子どもだけでなく、保護者、指導者にも、スポーツは勝利を目指して努力することがすばらしいが、勝利が最終目的ではないこと、豊かな人間を育む、誰でもアクセスできる、ボランティア等のメッセージを伝えていくことが重要だと思う。

[委員]

ヒヤリングは大事である。現況データに対して課題分析を行う場合に、ヒヤリングで実態や目指す姿が分かると、非常に意味がある計画が策定できると感じる。

[委員]

障害を持つ子の親にとっては、勝ち負けではない大切なことがスポーツにあることを計画に記載してほしい。差別の解消にもつながっていくと思う。

[委員]

部活動地域移行と計画との関連を整理してほしい。ヒヤリングは、子ども、高齢者、障害者、外国人等に加え、可能であれば、母親、中学生など、ターゲットグループを幅広く網羅的にするとよい。成果の測定は、スポーツ実施率や楽しさの先にある学びなどを見据える必要がある。多くの事業があるため、重点を定めてやっていくことが大事ではないか。

[座長]

現行計画策定時は関係団体ヒヤリングがなく、パブリックコメントの件数も少なかったため、ヒヤリングは重要なプロセスとして実施していくこととする。また、せつかくの計画なので、目黒らしさを入れられたら良いのではないかと。

4 議題

(6) その他

[庶務] 次回懇話会は11月の予定。別途日程調整をお願いします。

5 閉会